

- 【図書名等】 アーク溶接等作業の安全 特別教育用テキスト  
 コードNo.23172 第7版 定価 1,100 円 (本体 1,000 円+税 10%)  
 (コードNo. および定価は現行どおりです。)  
 表紙の色：ピンク→オレンジ
- 【発行日】 令和3年1月29日
- 【改訂のあらまし】

改訂のあらまし	該当頁
令和2年2月第6版発行後の、最新の法令・知見、技術動向に対応して内容、レイアウトおよびイラストを見直すなどの変更を行った。	
<b>第1編 アーク溶接等に関する知識</b>	
<b>第2章 電気に関する基礎知識</b>	
・「表1.4 金属導体の抵抗率」、表内容を差替え。	39
・旧版「4-3 感電反応の発生限界」を「4-3 人体反応の発生限界」に改め、本文中の「感電反応」の表記を「人体反応」に改めた。	41
<b>第2編 アーク溶接装置に関する基礎知識</b>	
<b>第1章 アーク溶接装置の概要</b>	
・「表2.1 交流アーク溶接機と直流アーク溶接機との特徴の比較」、注書きを追加。	51
・「図2.1 可動鉄心形アーク溶接電源の原理」、図内 a、b の記載位置を修正。	53
・「2-2-3 溶接装置の構成」、「(1) ミグ・マグ溶接装置」を「(1) マグ・ミグ溶接装置」に改めた。このほか、本文中の表記も「マグ・ミグ溶接」に修正。	55
・「3-3 溶接機の使用率」、「定格出力電流」の表記を「定格溶接電流」に修正。	58
<b>第2章 交流アーク溶接機用自動電撃防止装置</b>	
・旧版「3-2 感度による分類」と「3-3 構造による分類」の掲載順を入替え。	63
<b>第4章 配線</b>	
・「2-5 母材の接地」を追加。	83
<b>第3編 アーク溶接等の作業の方法に関する知識</b>	
<b>第3章 災害防止</b>	
・「1-2-6 母材の接地」、解説内容を差替え。	123
・「図3.27 一次救命処置の流れ」、新型コロナウイルス感染症への対応を注書きとして追加。	125
・「2-3-4 気道確保と人工呼吸」、本文に新型コロナウイルス感染症への対応の記述を追加。	128
・「2-3-5 胸骨圧迫 30 回と人工呼吸 2 回の組合せ」、新型コロナウイルス感染症への対応を注書きとして追加。	129
・旧版「4 ヒュームによる災害の防止」を「4 溶接ヒュームによる災害の防止」に変更。	138
・旧版「4-1 ヒュームの大きさ」を「4-1 溶接ヒュームの大きさ」とし、解説を一部修正。	138
・旧版「4-2 ヒュームの挙動」を「4-2 溶接ヒュームの挙動」に改め、解説を一部修正。	138
・旧版「4-3 人体への影響」を「4-3 溶接ヒュームの健康影響」に改め、溶接ヒュームが特定化学物質に追加されることなど、解説を追加。	139
・旧版「4-4 じん肺発症者数」を「4-4 じん肺」に改めた。	139
・旧版「4-5 粉じん対策」を「4-5 粉じん対策および特定化学物質障害予防規則への対応」に改め、特化則への対応について解説と図表を追加。	140
・「4-5-1 空気中の溶接ヒュームの濃度の測定等」、「4-5-3 呼吸用保護具の選定」、「4-5-5 フィットテスト」、「4-5-6 特殊健康診断」の項目を追加。	142、144、 150、151
<b>第4章 災害事例</b>	
・旧版より事例4を削除し、以降の事例番号を改めた。	
・旧版「事例12 アルゴン溶接後のタンク内における酸欠」を「事例11 溶接後のタンク内における酸欠」に改め、文中のアルゴンの表記を修正。	196

<b>第4編 関係法令</b>	
・「2 労働安全衛生法施行令（抄）」、最終改正日を改め、第6条、第14条の2、別表第3を追加。	223-224 225-227
・「3 労働安全衛生規則（抄）」、最終改正日および第36条を修正し、第18条を追加。	239、241
・「4 粉じん障害防止規則（抄）」、最終改正日および第27条を修正。	243-248
・「5 特定化学物質障害予防規則（抄）」を追加し、以降の項目番号を修正。	
<b>参考</b>	
・「参考3 交流アーク溶接電源の種類、定格及び特性」～「参考5 定電圧特性形溶極式ガスシールドアーク溶接電源の種類、定格及び特性」、最新のJISに対応し、内容を差替え。	279-281
・「参考6 サブマージアーク溶接電源の種類、定格及び特性」～「参考9 バッテリー溶接機の種類、定格及び特性」を追加し、以降の項目番号を修正。	281-283
・「参考10 被覆アーク溶接棒のJIS規格」、「参考11 マグ溶接用ソリッドワイヤのJIS規格」、内容を差替え。	284-285
・「参考13 呼吸用保護具のフィットテスト」を追加。	288
・「参考14 溶接用語」、一部の用語に参考のJIS表記を追加。また、「フロー溶接」、「熱応力」の項目を削除。	289
	以上